平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年2月1日

上場会社名　中部飼料株式会社　　上場取引所　東 名
コード番号　2053　URL　http://www.chubushiryo.co.jp/
代表者　(役職名) 取締役社長　(氏名) 平野 宏
問合せ先責任者 (役職名) 総務人事部長　(氏名) 井藤 直樹　TEL 052-562-2010

四半期報告書提出予定日　平成25年2月12日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	102,114	△1.6	2,296	18.5	2,434	21.4	1,344	23.7
24年3月期第3四半期	103,827	13.9	1,938	19.6	2,005	21.7	1,086	22.4

(注)包括利益　25年3月期第3四半期　1,816百万円　(110.7%)　24年3月期第3四半期　862百万円　(101.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	51.43	―
24年3月期第3四半期	41.75	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第3四半期	66,777	34,208	51.2	1,305.84
24年3月期	60,676	32,813	54.1	1,257.37

(参考) 自己資本　25年3月期第3四半期　34,198百万円　24年3月期　32,813百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	―	8.00	―	8.00	16.00
25年3月期	―	8.00	―		
25年3月期(予想)				8.00	16.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成25年 3月期の連結業績予想(平成24年 4月 1日～平成25年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	138,000	2.0	1,900	△26.5	2,000	△22.1	1,050	△21.7	40.23

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ―社 (社名) 、 除外 ―社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 有
④ 修正再表示 : 無
(注)「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期3Q	26,535,508 株	24年3月期	26,535,508 株
② 期末自己株式数	25年3月期3Q	346,418 株	24年3月期	438,623 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期3Q	26,143,103 株	24年3月期3Q	26,031,513 株

※期末自己株式数については、従業員持株ESOP信託口が所有する当社株式(25年3月期3Q 294,400株、24年3月期 386,700株)を含めて記載しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しておりません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)
本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 2
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 3
２．サマリー情報（注記事項）に関する事項 …… 3
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 3
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 3
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 3
３．四半期連結財務諸表 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書
第３四半期連結累計期間 …… 6
四半期連結包括利益計算書
第３四半期連結累計期間 …… 8
（３）継続企業の前提に関する注記 …… 9
（４）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 9
（５）セグメント情報等 …… 9

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第３四半期連結累計期間におけるわが国経済は、震災復興需要の下支えがあったものの、欧州政府債務危機、デフレや中国経済の減速など、依然として先行き不透明な状況が続いております。

飼料業界におきましては、主原料のとうもろこし価格が高騰し、米国の干ばつによる作柄への影響から８月には史上最高値を更新しました。その後は米国産の輸出需要の不振等から多少値を下げたものの、高値で推移しております。こうした原料状況を反映して、飼料メーカー各社は配合飼料価格を３度値上げしましたが、原料価格の上昇分全てを販売価格に転嫁することが出来ず、厳しい事業環境が続きました。また、為替が円安傾向にあることや、今後もとうもろこしの需給が緩和される可能性が低いことから、原料価格が高止まりすることが予想されます。

このような状況のなか、当社グループは原料高騰に対応するために、原料調達国の多様化、原料の有効的利用によるコストダウン等を実施し、原価の低減に注力しました。また、新たな市場開拓はもとより顧客の要望に合致した新製品の開発、積極的な販売活動の推進による売上拡大を図る一方、生産性向上、経費の削減などにより業績の向上に努めてまいりました。

その結果、当第３四半期連結累計期間の業績は、売上高1,021億14百万円（前年同四半期比1.6％減）、営業利益22億96百万円（前年同四半期比18.5％増）、経常利益24億34百万円（前年同四半期比21.4％増）、四半期純利益13億44百万円（前年同四半期比23.7％増）となりました。

主力の畜産飼料が平均販売価格、販売量ともに前年同四半期を下回ったことにより、売上高は、1.6％の減収となりました。経常利益は、飼料価格安定基金負担金の増加などにより販売費及び一般管理費が増加したものの、原価低減の推進による売上総利益率の上昇、営業外収益の増加及び営業外費用の減少などがあったため、21.4％の増益となりました。岡山工場を水島工場に統合したことによる工場移転費用を特別損失に計上したものの、税金費用の減少などにより、四半期純利益は23.7％の増益となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

（飼料）

前年同四半期と比較して、平均販売価格が下回ったことと畜産飼料販売量が若干減少したことから、売上高は、前年同四半期比3.2％減の855億38百万円となりました。セグメント利益は、飼料価格安定基金負担金の増加があったものの、原価率の低下などにより、前年同四半期比1.7％増の19億22百万円となりました。

（コンシューマー・プロダクツ）

ペットフードの販売量、自社開発の畜産物取扱量ともに増加したことにより、売上高は、前年同四半期比4.2％増の115億70百万円となりました。採算性が高い畜産物の拡販により、セグメント利益は、前年同四半期比23.5％増の２億65百万円となりました。

（その他）

売上高は、前年同四半期比15.9％増の50億５百万円、セグメント利益は、前年同四半期比30.7％増の１億99百万円となりました。増収増益となった主な理由は、畜産用機器の販売台数が増加したことと、輸出が増加したことにより利益率が上昇したためであります。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

（資産）

当第３四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ61億１百万円増加の667億77百万円となりました。流動資産は404億28百万円となり、前連結会計年度末に比べ47億12百万円増加しました。これは主に受取手形及び売掛金が49億39百万円増加したことによるものであります。固定資産は263億49百万円となり、前連結会計年度末に比べ13億89百万円増加しました。これは主に無形固定資産が３億73百万円減少したものの、水島工場の増設等により有形固定資産が16億67百万円増加したためであります。

（負債）

当第３四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べ47億６百万円増加の325億69百万円となりました。流動負債は275億53百万円となり、前連結会計年度末に比べ45億５百万円増加しました。これは主に未払法人税等が３億51百万円減少したものの、支払手形及び買掛金が21億79百万円、短期借入金（１年内返済予定の長期借入金を含む）が26億75百万円増加したためであります。固定負債は50億15百万円となり、前連結会計年度末に比べ２億１百万円増加しました。これは主にその他の固定負債が１億94百万円減少したものの、長期借入金が４億30百万円増加したことによるものであります。

（純資産）

当第３四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ13億95百万円増加の342億８百万円となりました。これは主に利益剰余金が８億69百万円、繰延ヘッジ損益が３億49百万円増加したことによるものであります。純資産の増加を総資産の増加が上回った結果、自己資本比率は前連結会計年度末に比べ2.9ポイント減少の51.2％となりました。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

平成25年３月期の業績予想につきましては、平成24年10月19日に公表いたしました数値から変更はございません。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

（減価償却方法の変更）

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第１四半期連結会計期間より、平成24年４月１日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第３四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ64百万円増加しております。

３．四半期連結財務諸表

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成24年12月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	995	1,173
受取手形及び売掛金	25,900	30,839
商品及び製品	1,841	2,164
仕掛品	468	592
原材料及び貯蔵品	5,167	4,776
その他	1,642	1,226
貸倒引当金	△299	△345
流動資産合計	35,716	40,428
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	6,482	7,021
機械装置及び運搬具（純額）	4,437	6,204
工具、器具及び備品（純額）	657	672
土地	7,148	7,148
建設仮勘定	717	63
有形固定資産合計	19,443	21,110
無形固定資産		
のれん	85	28
その他	1,999	1,683
無形固定資産合計	2,085	1,711
投資その他の資産		
投資有価証券	1,969	2,292
長期貸付金	1,252	1,179
その他	967	801
貸倒引当金	△758	△745
投資その他の資産合計	3,431	3,527
固定資産合計	24,960	26,349
資産合計	60,676	66,777

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成24年12月31日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,115	12,295
短期借入金	8,100	10,100
1年内返済予定の長期借入金	958	1,634
未払法人税等	866	514
賞与引当金	336	246
役員賞与引当金	38	－
資産除去債務	78	－
その他	2,554	2,762
流動負債合計	23,047	27,553
固定負債		
長期借入金	3,098	3,528
退職給付引当金	354	385
債務保証損失引当金	88	88
資産除去債務	81	82
負ののれん	129	63
その他	1,061	867
固定負債合計	4,814	5,015
負債合計	27,862	32,569
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,695	2,695
資本剰余金	2,353	2,353
利益剰余金	27,677	28,546
自己株式	△274	△216
株主資本合計	32,451	33,378
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	346	474
繰延ヘッジ損益	14	364
為替換算調整勘定	－	△18
その他の包括利益累計額合計	361	819
少数株主持分	－	9
純資産合計	32,813	34,208
負債純資産合計	60,676	66,777

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第３四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年12月31日）
売上高	103,827	102,114
売上原価	93,670	91,319
売上総利益	10,157	10,795
販売費及び一般管理費		
運賃	1,860	1,894
飼料価格安定基金負担金	1,883	2,242
のれん償却額	93	57
賞与引当金繰入額	156	209
貸倒引当金繰入額	126	△13
その他	4,099	4,109
販売費及び一般管理費合計	8,219	8,499
営業利益	1,938	2,296
営業外収益		
受取利息	19	15
受取配当金	45	69
保管料収入	77	76
負ののれん償却額	67	66
貸倒引当金戻入額	27	－
持分法による投資利益	2	7
その他	72	139
営業外収益合計	312	374
営業外費用		
支払利息	79	69
貸倒引当金繰入額	－	84
債務保証損失引当金繰入額	89	0
保管料原価	64	67
その他	11	14
営業外費用合計	245	235
経常利益	2,005	2,434

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年12月31日）
特別利益		
固定資産売却益	1	5
ゴルフ会員権売却益	－	9
補助金収入	－	9
受取保険金	2	－
特別利益合計	4	25
特別損失		
固定資産除売却損	57	11
投資有価証券評価損	6	6
ゴルフ会員権評価損	6	1
本部移転費用	25	－
工場移転費用	－	314
特別損失合計	95	334
税金等調整前四半期純利益	1,913	2,125
法人税、住民税及び事業税	761	725
法人税等調整額	65	59
法人税等合計	827	785
少数株主損益調整前四半期純利益	1,086	1,339
少数株主損失（△）	－	△5
四半期純利益	1,086	1,344

（四半期連結包括利益計算書）
（第３四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年12月31日）
少数株主損益調整前四半期純利益	1,086	1,339
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△54	127
繰延ヘッジ損益	△170	349
為替換算調整勘定	－	0
その他の包括利益合計	△224	477
四半期包括利益	862	1,816
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	862	1,821
少数株主に係る四半期包括利益	－	△5

（３）継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

（４）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

（５）セグメント情報等
（セグメント情報）
Ⅰ　前第３四半期連結累計期間（自　平成23年４月１日　至　平成23年12月31日）
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			その他（注）１	合計	調整額（注）２	四半期連結損益計算書計上額（注）３
	飼料	コンシューマー・プロダクツ	計				
売上高							
外部顧客への売上高	88,407	11,100	99,508	4,319	103,827	－	103,827
セグメント間の内部売上高又は振替高	468	0	469	11	480	△480	－
計	88,876	11,100	99,977	4,331	104,308	△480	103,827
セグメント利益	1,890	215	2,105	152	2,257	△344	1,913

（注）１　「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、畜産用機器等を含んでおります。
２　セグメント利益の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社費用△985百万円、金融収支685百万円が含まれております。
３　セグメント利益は、四半期連結損益計算書の税金等調整前四半期純利益と調整を行っております。

Ⅱ　当第３四半期連結累計期間（自　平成24年４月１日　至　平成24年12月31日）
１　報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			その他（注）１	合計	調整額（注）２	四半期連結損益計算書計上額（注）３
	飼料	コンシューマー・プロダクツ	計				
売上高							
外部顧客への売上高	85,538	11,570	97,109	5,005	102,114	－	102,114
セグメント間の内部売上高又は振替高	490	0	490	6	497	△497	－
計	86,028	11,571	97,599	5,012	102,612	△497	102,114
セグメント利益	1,922	265	2,188	199	2,387	△262	2,125

（注）１　「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、畜産用機器等を含んでおります。
２　セグメント利益の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社費用△738百万円、金融収支690百万円、工場移転費用△314百万円が含まれております。
３　セグメント利益は、四半期連結損益計算書の税金等調整前四半期純利益と調整を行っております。

２　報告セグメントの変更等に関する事項

（セグメント区分の変更）

従来、「飼料」、「コンシューマー・プロダクツ」及び「不動産賃貸」の３事業を報告セグメントとしておりましたが、「不動産賃貸」について量的な重要性が減少したため、第１四半期連結会計期間より、「飼料」及び「コンシューマー・プロダクツ」の２事業を報告セグメントとし、「不動産賃貸」を「その他」に含めております。

なお、前第３四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

（減価償却方法の変更）

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第１四半期連結会計期間より、平成24年４月１日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

この変更に伴い、従来の方法によった場合に比べ、当第３四半期連結累計期間のセグメント利益は、「飼料」で63百万円、「コンシューマー・プロダクツ」で0百万円、「その他」で0百万円増加しております。